

フィールド・レコーディングをしているのは、音楽を作るための素材採取ではなく、自然や街の歴史をアーカイブしたいわけでもなく、土地を感じたい、という大袈裟だけれど、表面的に偽ることがしづらく、何をどうしたって聞こえてしまう音の風景が、目で見ている風景よりも直接的な「感じ」がして、土地が持つ何かを掴むために必要な行為な気がする。

沖繩に戻ってきて3年が経とうとしている。島の日常は相変わらず、基地や観光で社会が揺れている。何においても正しい答えは決まりきっていて、属しているのは家族ぐらいな僕にさえ、島特有の正しさが身体に満ちてくる。感じたり考えたりする隙間はなく、押し寄せてくる正しさに身を委ねることが、暮らしの指標となる感じだ。3年、いや、それは僕の時間軸だけで捉えた場合。戦後、いや、もっともっと昔から。この島における正しい答えは、おそらく相変わらずな状態をずっと維持していて、今日にはどうしようもできないほど巨大な力となって僕を揺さぶる。おかげでこの島の土を踏めずにいるわけだ。つまり、この島の歴史や社会情勢、思想や宗教観など、他にもたくさんあることを、僕はまったくもって受けとめきれずにいて、それでも自分自身の心と体をもって沖繩と向き合いたい僕は、この島の風景が奏でる音に耳を立て、何かを掴まなければいけない気がしている。

そのようなことを思いつつも、焦っているのは余計に「感じ」を掴めない。落ち着いて、ゆるく、日常を適当に過ごす。レコーダーをカバンやポケットの中に忍ばせておいて、ここぞタイミングを適当に待つ。タイミングが速ければ、ポケットの中の小さなレコーダーを。ゆったりとしているのであれば、たくさん機材をつなげた大袈裟なレコーダーを。家の中でも屋外でも、移動中でも、とにかくレコーダーを持って過ごす。特別な場所を訪れず、あくまで身体が赴くままに行動してみる。事前に録音することも決めたりはせず、「感じ」とちゃんと向き合えるように。録音ボタンを意識的に押ししても、「感じ」を削ぎ落としてしまわないように。

記録された音は、加工することもせず、場所や時間の情報も可能なかぎり忘れてしまうことにする。縛るものごとを減らしてみると、ようやく音からなにかを感じる気がするためだ。触れて溶けてしまった雪を、再結晶化することが自らの手でできないように、土地の声も弱く、脆く、小さいために、そっと触れる。消費に慣れてしまった僕の傲慢な態度が音に入り込まないように、そっと、丁寧に触る。風景から音を拾うのは神経を使う。

録音された音が僕の手から離れた状態になったら、ようやく聴く準備が整うはず。社会にも自分にとっても都合の良い文脈など介在していない音。レコーダーの録音ボタンを押してから、それを停止するまでの時間を記録しようと思った自分と、島との関係だけが記録されているはずだ。発しては消えてしまった風景を、その時の僕が感じていた「感じ」を聴くことができるはず。

というわけで、地に足がつかない僕は、沖繩の風景を音で記録し、このウェブサイトにもアップロードして寝かせることにした。ここで聴くことができる音は、2021年1月現在の僕の手からまだ離れておらず、沖繩のどこで録音したのか、いつ録ったのか、簡単に思いつくことができる音だ。つまり、僕の先入観でいっぱいな状態でアップロードした。数

日後なのか、数ヶ月後、いや数年後かもしれないけど、ここに在る音がどんな音だったか簡単に思い出せないぐらい放置した後、ひとりゆっくりと時間をかけて聴いてみたいと思う。少しでも、自分の都合で解釈しないためにも、録音された音はランダムに再生し、録音された場所や時間、何の音が記録されているのかなど、音に関する情報を記さないことにした。タイムカプセルみたいでダサイけど、今の自分が沖縄と向き合うためにできる、小さなおまじない。

このウェブサイトにはアップロードされた音たちは、僕以外の人にとって、むしろ直接的すぎる音として聴こえてくるかもしれません。味付けがなく、素材のまま。聴いても聴かなくても、別になんともない音の記録です。アート作品だというと大袈裟ですね。ただ、料理しながらでも呑みながらでも良いので、蠟燭の灯りやルームコロンのように、空間に馴染ませてみて、適当にだらだらと聴く感じで鑑賞して欲しいんです。大きなポリウムにはせず、あなたの日常と、僕が感じた沖縄の風景が混ざっていくように、はっきりとさせずぼんやりと、小さく、やさしく、音量を調整してみてください。

「風土を感じるためのおまじない（フィールドレコーディングが僕から離れていくための準備）」

2021年、サウンド、ウェブサイト

録音、テキスト.. 吉濱翔

ウェブサイト.. 増本泰斗

ポストカード.. 崎谷果梨

写真.. 宮城佳久

協力.. 芦立さやか

令和2年度沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業

支援.. 沖縄県、公益財団法人沖縄県文化振興会